

# 平成19年度 第2回県立病院を良くする会

## 議 事 次 第

日 時 平成20年3月21日(金)  
午前10時から正午まで  
場 所 県庁10階 大会議室

開会

1 会長挨拶

2 議題

(1)平成20年度主要施策の概要について

3 質疑及び意見交換

閉会

## 委員名簿

学識経験者	藤岡 幹恭	徳島文理大学名誉教授
学識経験者	谷田 一久	広島国際大学医療福祉学部准教授
医療関係者	香川 征	徳島大学病院長
医療関係者	水口 艶子	社団法人徳島県看護協会会長
消費生活関係者	片山 悦子	特定非営利活動法人徳島県消費者協会会長
公募委員	一宮 亮一	
公募委員	里村 典子	

## 病院局出席者一覽表

病院事業管理者	塩谷 泰一
病院局長	日浅 哲仁
●中央病院	
副院長（企画・経営担当）	藤野 良三
医療技術局長	河田 明男
看護局長	林 良子
事務局次長	森住 孝義
事務局医事課長	片岡 秀雄
事務局主査兼係長（診療情報担当）	田村 淳二
事務局係長（企画経理担当）	清井 浩明
●三好病院	
院長	松下 光彦
事務局長	妹尾 英明
医療技術局長	藤浦 一存
医療技術局検査技術科長	井村 健治
看護局看護師長	秋山 恵子
看護局看護師長	堀川 久代
事務局係長（企画経理担当）	前田 隆司
●海部病院	
院長	川端 義正
事務局長	宮原 英夫
事務局事務主任	平岡 直人
看護局技師（医療介助）	一山 貴美
看護局	野尻 桂子
●総務課	
課長	黒川 修平
課長補佐	森 裕二
係長（総務担当）	森 文孝
課長補佐（業務担当）	古川 武信
係長（業務担当）	林 博信
●経営企画課	
課長	新田 多門
課長補佐	戸出 浩昌
係長（予算経理担当）	阿宮 広明
係長（予算経理担当）	来島 努
係長（経営戦略担当）	頭師 正彦
事務主任	大井 文恵
主事	立石 雅大
●施設整備推進室	
室長	古賀 義章
主幹（施設担当）	三好 正和
事務主任	中島 功志

## 平成20年度 病院局主要施策の概要

### 1 中央病院改築推進事業 (691,000千円)

本県における基幹病院として、高度専門医療を中心とした医療の提供や災害拠点施設としての機能向上を図るため、中央病院の改築工事に着手する。

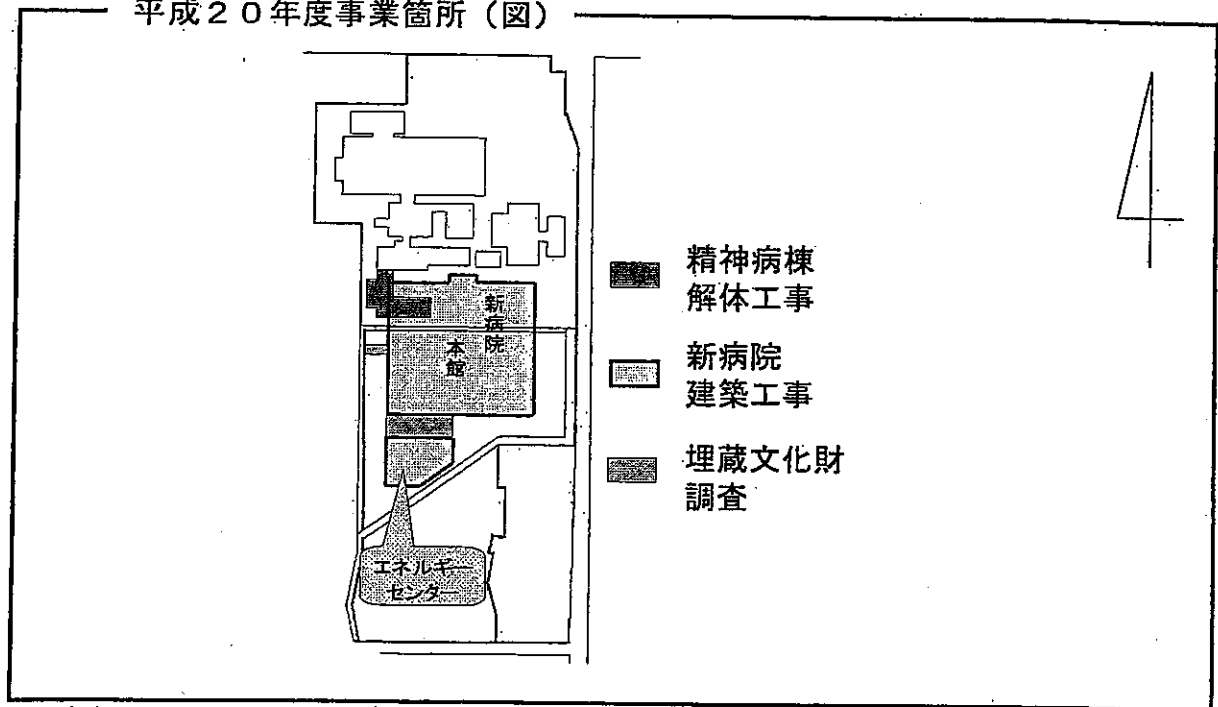
ア 請負工事費 413,004千円  
新病院本体の建設工事に着手し、併せて精神病棟の一部解体工事を実施する。

イ 設計委託費 91,872千円  
新病院本体の建設工事に係る工事監理費を計上するとともに、埋蔵文化財調査等を実施する。

ウ 医療器械等購入費 135,408千円  
医療機能の維持確保を図る観点から、所要の医療器械及び備品について、計画的な整備を行う。

エ 改築事務費 50,716千円  
新病院本体の建設工事に伴う諸手続など、事業の推進に要する諸準備を進める。

平成20年度事業箇所(図)



### オ 継続費の設定

平成20年度から23年度までの間、新病院本体の建設工事費及び工事監理費に係る「継続費」を設定する。

(年割額：百万円)

平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	計
433	1,999	5,401	6,138	13,971

2 <新>三好病院電子カルテシステム整備事業 (367,000千円)

三好病院における医療事務の効率化と患者基本情報の一元管理による医療サービスの高度化を推進するため、電子カルテシステムを整備する。

《導入スケジュール》

平成20年10月 …… 運用テスト開始  
平成20年度中 …… 院内業務の見直し及び新システムの研修  
平成21年 春 …… 新システム全面稼働

3 県立病院医師確保対策推進事業 (233,567千円)

①臨床研修医育成・拡大事業 197,203千円

県立病院において、医師確保対策への積極的な役割を果たすという観点から、多くの医師に本県での研修を受ける機会を創出する。

②臨床教育機能整備・拡充事業 3,488千円

県立病院のみならず、県全体の医療機関にわたって、臨床研修医への教育・指導体制を向上させるべく、厚生労働省の認定による「臨床研修指導医講習会」を開催する。

③<新>臨床研修医スキルアップ事業 1,376千円

沖縄県立中部病院への派遣研修を開始する等、研修プログラムの充実により、研修医の技能及び知識の向上を図る。

④<新>医療業務適正化推進事業 31,500千円

病院勤務医の過大な負担を軽減するため、医師の事務作業を補助する職員を新たに導入する。

# 県立中央病院改築事業について

## 1 総合メディカルゾーン

- (1) 大学病院に隣接しているという全国的にも例がない立地条件を生かし、両病院間を連絡橋で結び、機能整備をはじめとした交流を深め、「県内医療の中核拠点」として整備し、これまでにない、高度で先進的な医療を提供できる場として、徳島県全体の医療の最適化をめざす。
- (2) 「県民の安心」、「県民の健康」をめざした医療の拠点化、「県民医療の発展」をめざした情報・教育の拠点化、「効率的な運営」をめざした施設・設備の建設と運営を図る。

## 2 新病院の概要

### (1) 設計コンセプト

**「県民に支えられた病院として県民医療の最後の砦となる。」**  
**～ リーディングホスピタル～**

#### 【基本コンセプト】

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| ① 「医療の質の向上に努める病院」 | ② 「医療の透明性を確保する病院」 |
| ③ 「医療の効率性を追求する病院」 | ④ 「人と環境に優しい病院」    |
| ⑤ 「安全で災害に強い病院」    |                   |

#### 【重点的に担う役割】

- |                                 |                                 |                                |
|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 救命救急医療 | <input type="checkbox"/> 小児救急医療 | <input type="checkbox"/> 周産期医療 |
| <input type="checkbox"/> がん医療   | <input type="checkbox"/> 災害医療   | <input type="checkbox"/> 専門的医療 |
| <input type="checkbox"/> へき地医療  |                                 |                                |

### (2) 新病院の施設面での特徴

#### ① 安全で災害に強い病院（セーフティー ホスピタル）

免震構造、屋上ヘリポート、備蓄倉庫、トリアージスペースの確保

#### ② 人と環境に優しい病院（エコロジカル ホスピタル）

- 1床（1ベッド）当たりの面積は、現在の約1.6倍（約6㎡→約9.6㎡）
- ベッドサイドは、小さなマイホーム（各ベッドに外部に面した窓を設置）
- コージェネレーションシステム等利用
- LED、県産材の使用

### (3) 建物の構造・規模等

- |             |   |
|-------------|---|
| ① 敷地面積      | 約37,000㎡（現病院 約27,000㎡）                                    |
| ② 延床面積      | 約37,000㎡（現病院 約28,000㎡）                                    |
| ③ 構造種別      | PC造（プレキャストコンクリート造）、免震構造                                   |
| ④ 階数規模      | 本館とエネルギーセンターの2棟で構成<br>本館は地上9階建<br>エネルギーセンターは、鉄筋コンクリート造2階建 |
| ⑤ 屋上ヘリポート   |   |
| ⑥ 患者用エレベーター | 5台（各15人用）（現病院 2台（各9人用））                                   |
| ⑦ 外来駐車場     | 約400台（現病院 約300台）  |

### (4) 病床数・診療科目

- |            |                |
|------------|----------------|
| ① 病床数 460床 | ② 診療科目 19診療科予定 |
|------------|----------------|

## 新病院の特徴

区分	事 項	現 病 院	新 病 院	備 考
施設設備等	建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート	PC造(プレキャストコンクリート造)	工期の短縮 工事用車両の削減 廃棄物の削減 増築スペースの確保
	耐震	未対応	免震構造	地震時の揺れを削減
	規模	地下1階地上12階塔屋2階	地上9階塔屋2階	
	メディカルストリート	なし	設置	大学病院との共同利用
	連絡橋	なし	設置	大学病院との連携
	散歩コース	なし	設置	運動習慣の確保 リハビリテーション
	災害医療対策	ヘリポート	なし	設置
トリアージスペース		対応スペースが限定される	建物内外での対応が可能	
災害用備蓄倉庫の設置		なし(専用倉庫)	設置	
講堂等に医療ガス、非常用コンセントの設置		なし	設置	
停電時に稼働可能なエレベーター		1台	6台	
救命救急医療	非常用エレベーター	設置	設置	ヘリポート、手術室、ICU、救急部門につながり新病院の救命救急医療の中心となる。
	手術室	6室	8室	
	救命救急病床	30床	40床	
	ICU	3床	10床	
	HCU	4床	30床	
周産期医療	NICU	なし	6床	
	GCU	なし	6床	
患者サービス施設等	カフェコーナー	なし	設置	
	談話室(患者用食堂)	なし	病棟各階に設置	
	患者図書室	なし	設置	
	患者用駐車場	約300台	約400台	
	多目的トイレ	2箇所	32箇所	
	患者用エレベーター	2台	5台	全体数 14台 エスカレーター 1台

県立中央病院改築推進事業配置図

配置図

国道192号

徳島県  
総合健診センター

新館

メディカルストリート

立体駐車場

救急車

主玄関  
ホスピタルパーク

連絡橋  
(3階部分)

徳島大学病院

県立中央病院

廃棄物庫  
災害倉庫棟

救命救急センター  
入口

エネルギーセンター

